

番号	建物名称	建物用途	延べ面積(m2)	場所	ランク	
R6-	CAS-1	兵庫県立西宮総合医療センター（仮称）立体駐車場棟	自動車車庫、自転車車庫、病院、薬局、物販店舗	15,042	津門大塚町	A
	CAS-2	（仮称）西宮北IC物流PJ計画 新築工事	事務所、工場	44,269	山口町下山口	A
	CAS-3	（仮称）西宮市甲子園九番町計画	共同住宅	10,589	甲子園九番町	A
	CAS-4	（仮称）プレサンスロジェ甲子園口北町 新築工事	共同住宅	2,242	甲子園口北町	B+
	CAS-5	（仮称）株式会社浜学園様プロジェクト新築工事	事務所	2,743	南昭和町	B+
	CAS-6	（仮称）西宮市上ヶ原四番町 新築工事	共同住宅	4,465	上ヶ原四番町	B+
	CAS-7	（仮称）西宮市鳴尾浜二丁目物流施設	工場	7,997	鳴尾浜2丁目	B+
	CAS-8	（仮称）西宮戸田町マンション新築工事	共同住宅	2,465	戸田町	B+
	CAS-10	武庫アルテンハイム建替整備計画	病院	2,754	田近野町	B+
	CAS-11	（仮称）西宮市段上町5丁目 計画（学生寮）	共同住宅等	2,782	段上町5丁目	B+
	CAS-13	（仮称）西宮市津門稲荷町計画	共同住宅	5,088	津門稲荷町	B+
	CAS-14	（仮称）ココファン西宮香櫨園	サービス付き高齢者向け住宅	2,317	中浜町	B+
	CAS-15	（仮称）西宮市段上町5丁目計画（老人ホーム）	住宅型有料老人ホーム	2,857	段上町5丁目	B+
	CAS-16	明和病院（仮称）本院増改築工事のうち新築・解体工事	病院	9,817	上鳴尾町	B+

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	兵庫県立西宮総合医療センター(仮)	階数	地上6F
建設地	兵庫県西宮市	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	309 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 竣工	評価の実施日	2024年4月8日
敷地面積	26,000 m <sup>2</sup>	作成者	三上 正明
建築面積	2,828 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	15,042 m <sup>2</sup>	確認者	三上 正明

外観バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 69%  
③上記+②以外の 69%  
④上記+ 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 1  
LR2 資源・マテリアル: 1  
LR3 敷地外環境: 1

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b> 低層の付帯施設を道路側に配置し、高層(6階)の立体駐車場を奥側にすることで圧迫感を軽減させるように配慮した。また、駐車施設の無機質なイメージを和らげるため暖色系の外壁とした。その他、同敷地内の病院との相互の利便性を考慮し、3階に渡り廊下を設置し連絡通路とした。</p>		<p>浸水災害への対応として、敷地全体の土地利用計画を考慮し、掘削土を再利用することで、1階床レベルを沿道から約1.5m上げた計画とした。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b> 適切な空調設備を設けて室温抑制に配慮し、また、ゾーン別に空調設定できるように設計した。換気設備についても十分な換気量となる機器選定をした。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> 防汚性の高い内装仕上げと更新間隔の長い設備配管を使用し、維持管理しやすい計画とした。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 屋上緑化・壁面緑化を積極的に取り入れ、敷地全体の緑化に努めた。また、多様な樹種による植栽計画を行い、東側沿道を中心にリズムカルに配植することにより、歩道の景観に配慮した。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> 外壁及び屋根面に断熱材、屋根の一部には屋上緑化、開口部には複層ガラスを設けることにより建物の熱負荷抑制に努めた。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓や節水型便器を採用し、節水に配慮した。また、原則乾式工法を採用し、内装変更時に容易に対応できるように計画した。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> 十分な駐車台数・駐輪台数を確保し、かつ、駐車場の出入口を敷地内通路を介して奥まった位置に配置することにより、公道に車両が渋滞しないよう交通負荷抑制に努めた。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮北IC物流PJ計画 新築工	階数	地上4F
建設地	兵庫県西宮市山口町下山口109他	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし(22条区域)	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 竣工	評価の実施日	2023年8月7日
敷地面積	22,514 m <sup>2</sup>	作成者	ナカノフード建設名古屋支社一級
建築面積	12,575 m <sup>2</sup>	確認日	2023年8月7日
延床面積	44,269 m <sup>2</sup>	確認者	ナカノフード建設名古屋支社一級建築工務所 上藤



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	・外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の低減に努めている。	その他
Q1 室内環境	・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	・主要な用途別エネルギー消費の内訳を把握して、消費特性の傾向把握・分析を行い、妥当性の確認が可能である。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	・耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市甲子園九番町計画	階数	地上5F
建設地	兵庫県西宮市甲子園九番町181、18	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	323 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年5月15日
敷地面積	5,819 m <sup>2</sup>	作成者	浅井謙建築研究所株式会社
建築面積	2,803 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	10,589 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 74%  
③上記+②以外の 74%  
④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	建物利用者の快適な生活環境を維持するため建築物の耐用年数を高め、省エネルギー性等で環境に配慮している	その他 特に無し
Q1 室内環境	断熱等性能等級 等級5として室内温熱環境に配慮	Q3 室外環境(敷地内) 景観に配慮
Q2 サービス性能	劣化対策等級 等級3、更新必要間隔の長い給排水配管等で建物の耐用年数に配慮	
LR1 エネルギー	断熱等性能等級 等級5、エコジョーズ(潜熱回収型給湯)、LED照明などで省エネに配慮	LR3 敷地外環境 適切な自転車置場、駐車スペースの確保
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材を採用して環境に配慮	

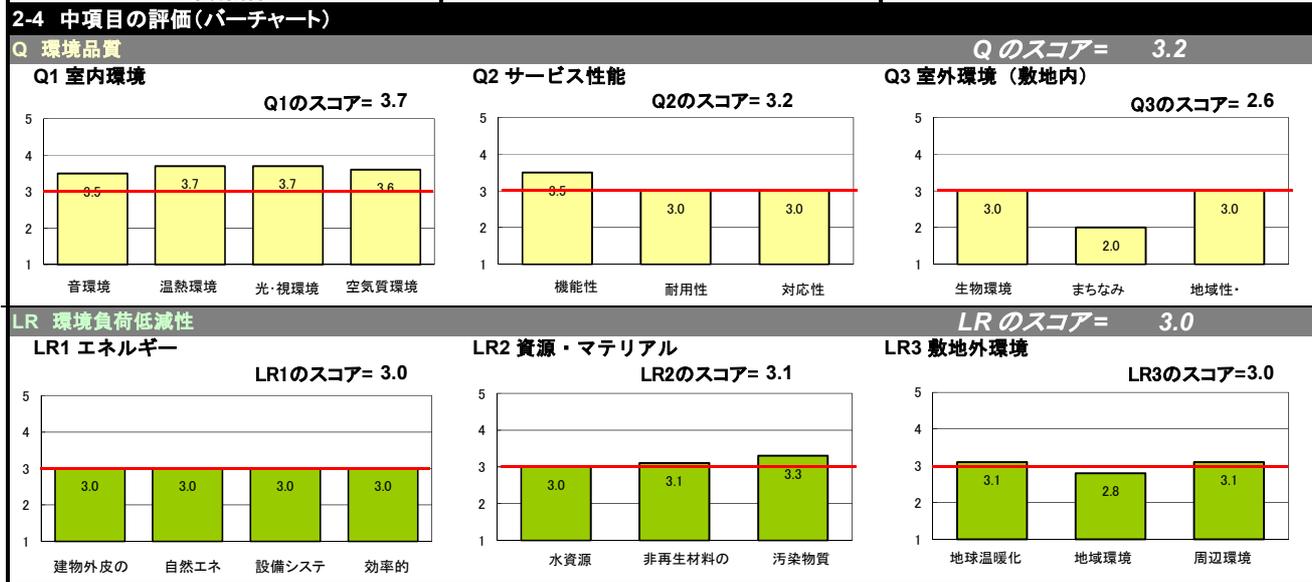
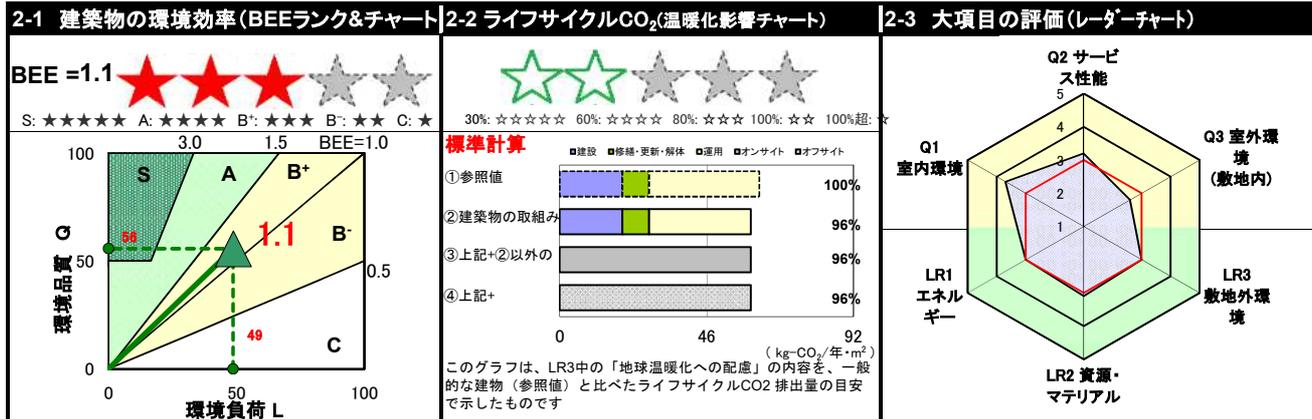
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジエ甲子園口北町 新築工事	階数	地上5F、地下0F
建設地	兵庫県西宮市甲子園口北町195番	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	59 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2024年7月10日
敷地面積	1,020 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社日企設計一級建築士事務所 森田俊和
建築面積	604 m <sup>2</sup>	確認日	2024年7月10日
延床面積	2,242 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社日企設計一級建築士事務所 森田俊和



3 設計上の配慮事項		
総合	遮音性能が高い建材や、採光が十分にとれる窓の採用等により室内環境の向上に配慮している。	その他 特に無し
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用し、空気質環境に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内に緑化を行い、室外環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー	標準程度の断熱計画・設備計画を行っている。	LR3 敷地外環境 特に無し
Q2 サービス性能	耐用年数が高い建材や配管を使用し、建物耐用性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材やノンフロン断熱材を使用し、資源保護に配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_速報版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社浜学園様プロジェクト新築工事	階数	地上6F
建設地	兵庫県西宮市南昭和町37番1、39番、40番1	構造	S造
用途地域	近隣商業、準防火地域	平均居住人員	270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2024年7月25日
敷地面積	1,013 m <sup>2</sup>	作成者	塩谷 光生
建築面積	461 m <sup>2</sup>	確認日	2024年8月8日
延床面積	2,743 m <sup>2</sup>	確認者	竹森 勝昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.0</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>①参照値: 100%                  ②建築物の取組み: 79%                  ③上記+②以外の: 79%                  ④上記+: 79%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q のスコア = 2.7</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 2.6</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 3.0</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 2.5</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p><b>LR のスコア = 3.3</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 3.2</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 3.4</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。                  主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。                  ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>特になし</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>床、天井二面に吸音材を使用している。                  自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>天井高2.7m以上。                  階高3.7m以上。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>BPI<sub>m</sub>=0.71。                  手動の開閉窓を使用している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水コマなどに加えて、節水型機器も採用している。                  LGSとOAフロアを使用している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>燃焼機器を使用していない。                  光害対策ガイドラインの項目の全ての配慮事項を満たしている。                  また、広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市上ヶ原四番町 新築	階数	地上5F
建設地	兵庫県西宮市上ヶ原四番町110-1	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年11月11日
敷地面積	2,580㎡	作成者	株式会社 ライト・ストーリー総合
建築面積	945㎡	確認日	
延床面積	4,465㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	断熱等性能等級で等級4を取得し、付加価値を設けた。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	屋光率を2.5%以上確保	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー	断熱等性能等級で等級4を取得予定であり、高い断熱性能のある建築材を採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。
Q2 サービス性能	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	
LR2 資源・マテリアル	特に無し。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_連絡版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市鳴尾浜二丁目物流施設	階数	地上4F
建設地	兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号	構造	S造
用途地域	市街化区域、準工業地域	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年10月1日
敷地面積	4,065 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社 流通一級建築士事務所 西山 健雄
建築面積	2,121 m <sup>2</sup>	確認日	2024年10月1日
延床面積	7,997 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社 流通一級建築士事務所 西山 健雄



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を作ろうとしている。	その他 特になし
Q1 室内環境	対象外	Q2 サービス性能 建築物に対して十分な耐用年数を持つ給排水配管がなされている。
Q2 サービス性能	対象外	Q3 室外環境(敷地内) できる限り緑地を設けている。
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を利用し、資源の有効活用に努めている。
LR2 資源・マテリアル	対象外	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=88%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮戸田町マンション新築	階数	地上9階
建設地	兵庫県西宮市戸田町3番2	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	91人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年9月30日
敷地面積	422㎡	作成者	己波 智佳子
建築面積	318㎡	確認日	
延床面積	2,465㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 83%  
③上記+②以外の 83%  
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア=3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア=3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア=2.5

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア=3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア=3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.2

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 西宮社から徒歩約10分の商業地域である為、交差点に面した1階角にテナントを配置し、街角ににぎわいを創出できるよう計画した。1階外壁は主に大判タイルを使用し重厚感のある仕上とする事で品格と落ち着いた雰囲気のある意匠とし、街角の景観に溶け込むよう配慮した。北側廊下は阪神電車からも見える為、プライバシーと景観に配慮し、ガラス目隠し手摺を計画した。	<b>その他</b> 雨水抑制対策として地下ピットに雨水貯留槽を設けている。
<b>Q1 室内環境</b> 遮音・断熱性能に配慮した。遮音・断熱性能に配慮した。遮音性のT-1、断熱性能H-2とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 限られた敷地の中で駐輪場・駐車場の台数を極力多く確保し、建物内までの移動に雨に濡れない動線を確認した。また、宅配用駐車場・店舗・事務所用駐車場を敷地内に
<b>LR1 エネルギー</b> 照明計画等の設備システムの高効率化に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 有害物質を含まない材料など、低環境負荷を利用した。また、躯体と仕上げ材、内装材と設備を容易に分別可能とした。
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 周囲の建物は商業施設・戸建住宅・共同住宅が周囲に混在し、統一感はないが、シンプルな形状・YR系を基調とした色彩を施した建物とすることで違和感がないに配慮した。道路境界部の植栽は周辺の樹木との調和も意識した樹種選定を行う事により、通りの連続性や統一感に配慮した。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地外環境へ悪影響を与えないために、各種基準を満たすよう配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	武庫アルテンハイム建替整備計画	階数	地上4F
建設地	兵庫県西宮市	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2024年12月25日
敷地面積	5,477 m <sup>2</sup>	作成者	平田 浩
建築面積	811 m <sup>2</sup>	確認日	2025年1月14日
延床面積	2,754 m <sup>2</sup>	確認者	平田 浩



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	資源・マテリアル性に配慮し、環境負荷低減に努めた	その他 特になし
Q1 室内環境	使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用し、室内空気質環境へ配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
Q2 サービス性能	長寿命の建材を使用した排水管等を採用している	
LR1 エネルギー	熱負荷抑制に努めている	LR3 敷地外環境 光害対策に十分に配慮した計画
LR2 資源・マテリアル	建物の節水性に配慮している	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市段上町5丁目 計画	階数	地上5F
建設地	兵庫県西宮市段上町5丁目2番1号	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火	平均居住人員	101 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2025年1月27日
敷地面積	2,185 m <sup>2</sup>	作成者	日企設計 林
建築面積	708 m <sup>2</sup>	確認日	2025年2月5日
延床面積	2,782 m <sup>2</sup>	確認者	富士設計 河野 展之



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.3

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	安全性の面からF☆☆☆☆の内装材を全面的に使用している。また、リサイクル材を採用し資源の有効利用にも心掛けている。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	自然換気が可能な開口部を各住戸に設置した。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地にできる限りの緑地を設けて良好な温熱環境を心掛けている。
LR1 エネルギー	LED照明を採用。	LR3 敷地外環境 広告物照明の設置無し。
Q2 サービス性能	各住戸にLANケーブルCAT5eを設置し情報化社会に対応した。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を使用し、資源の有効利用に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_連絡版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市津門稲荷町計画	階数	10
建設地	兵庫県西宮市津門稲荷町30-3,30-	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第1種住居地域	平均居住人員	196 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年2月25日
敷地面積	1,542 m <sup>2</sup>	作成者	吉村 耕一郎
建築面積	721 m <sup>2</sup>	確認日	2024年2月25日
延床面積	5,202 m <sup>2</sup>	確認者	吉村 耕一郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 72% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 72%

④上記+ 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.4

Q2 サービス性能: 2.7

Q3 室外環境(敷地内): 2.8

LR1 エネルギー: 3.8

LR2 資源・マテリアル: 2.7

LR3 敷地外環境: 3.3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	ZEH-M orientedを取得し、省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。	
その他	0	
Q1 室内環境	外皮性能として、住居部分については日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級6を満たす計画とし、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して更新間隔を長くするように努めた。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内には適切に緑化を施すことで地表温度上昇を極力抑える計画とした。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	LED照明設備等を採用することで省エネルギーに配慮した。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げが容易に分別可能なことから部材再利用の可能性向上に配慮している。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ココファン西宮香榎園	階数	地上4F
建設地	西宮市中浜町35番1 芦屋市大東町	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用	平均居住人員	136 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 竣工	評価の実施日	2025年2月25日
敷地面積	1,037 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 硯川設計
建築面積	621 m <sup>2</sup>	確認日	2025年2月25日
延床面積	2,317 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 硯川設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・建物の高さを極力抑え、周辺のスカイラインに配慮しました。 ・上階を段階的にセットバックさせ、周辺への圧迫感の低減、日影の影響を考慮しました。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> ・使用建材はF☆☆☆☆としました。 ・喫煙室は煙の流出を低減させるため、換気設備の能力を上げ、カーテンを入りに設けました。	<b>Q2 サービス性能</b> 設備のメンテナンス性の向上に配慮した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 高木、中木、低木をバランス良く配置し、室外環境の向上及び室内の熱負荷の低減に努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> 外部に面する開口部は、全てLow-Eガラスを使用した複層サッシとし、断熱材の厚みを増し、外皮性能を高めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・断熱材は全てノンフロンを使用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・車両は市道への出入りの際の安全性に配慮し、市道の交通渋滞を起こさぬようスムーズに出入り出来るよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市段上町5丁目計画(老)	階数	地上3F
建設地	兵庫県西宮市段上町5丁目2番1号	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2025年2月21日
敷地面積	3,354 m <sup>2</sup>	作成者	日企設計 林
建築面積	1,075 m <sup>2</sup>	確認日	2025年2月21日
延床面積	2,857 m <sup>2</sup>	確認者	日企設計 林



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 78% (143 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 78% (143 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 78% (143 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内にできる限りの緑化を設置し環境への考慮をしている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	共用部、宿泊部分ともに昼光率が高く、自然彩光によりエネルギー削減に寄与している	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に可能な限り緑地を配し、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制に努めた設計としている	LR3 敷地外環境 建物利用者の為の適切な量の駐車場を確保している。
Q2 サービス性能	外部に露出する金属部材にメッキ処理等の特別な防錆対策が取られている。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル資材を採用し資源の有効利用に寄与している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_連絡版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	明和病院(仮称)本院増改築工事の	階数	地上4F、地下0F
建設地	兵庫県西宮市上鳴尾町67番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法第22条区域	平均居住人員	1,700 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2030年9月 予定	評価の実施日	2025年3月5日
敷地面積	9,251 m <sup>2</sup>	作成者	葛西孝一
建築面積	2,817 m <sup>2</sup>	確認日	2025年3月5日
延床面積	9,817 m <sup>2</sup>	確認者	葛西孝一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 87% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 87%

④ 上記+: 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 西宮市に建設される病院の計画である。敷地境界線沿いに緑化を施すことで、歩行者にとっても建物利用者にとっても心安らく環境づくりを行っている。また、高効率な設備機器の導入により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い内装、配管材料を採用し、建物の維持管理に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内には植栽や公開空地を設け、建物利用者だけでなく周辺住民についても自然に親しめる空間となるよう配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> 削減に配慮することで、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される